

事業名	事業型	事業箇所名 (地区名)	事業実施主体	関係市町村	計画期間内 の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内 の総事業費 (千円)	備考
治山事業	予防治山事業	鳥取県内全域	鳥取県	鳥取市ほか	山腹工1式、 溪間工1式	H27～31	747,000	
	林地荒廃防止事業	鳥取県内全域	鳥取県	鳥取市ほか	山腹工1式、 溪間工1式	H27～31	1,810,596	
	山地災害総合減災対策治山事業	岩美郡岩美町	鳥取県	岩美町	山腹工1式	H27～31	30,988	
	共生保安林整備事業	東伯郡三朝町	鳥取県	三朝町	溪間工1式	H27～31	55,000	
小計							2,643,584	
漁場保全の森づくり事業	保安施設事業	鳥取市	鳥取県	鳥取市	溪間工1式	H28～31	42,668	
小計							42,668	
合計 (全体事業費)							2,686,252	

【自主的・主体的な検証（事前評価）結果】

目標の妥当性、整備計画の効果・効率性、及び整備計画の実現可能性について、以下の観点で自主的な事前検証を行った結果、本整備計画の内容を妥当と判断した。

また、交付期間終了後の評価方法については、対象事業に掲げる各事業を所掌する担当課（森林・林業振興局、治山砂防課）において、要整備森林面積、要整備山地災害危険地区数の目標値と実績値を比較することで実現状況等を評価することとする。

項目	判定	自主的・主体的な検証の内容
1 目標の妥当性		
上位計画等との整合性	○	森林整備保全事業計画との整合性が図られていること。
地域の課題への対応	○	本県の林業振興策、山地保全整備策及びその他抱える課題と整備計画の目標が適合していること。
2 計画の効果・効率性		
整備計画の目標と評価指標の整合性	○	整備計画の目標と評価指標の整合性が図られていること。
評価指標の明瞭性	○	評価指標設定の考え方や定義、計算式等が明記されていること。
目標と事業内容の整合性	○	効率的な目標達成の観点から、対象事業に掲げた各事業の実施が必要と認められること。
事業の効率性	○	対象事業に掲げた事業地区毎に、すべての効用がそのすべての費用を償うと認められること。（予算補助事業は除く）
3 計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	○	周辺住民等との合意形成や市町村の協力体制など、円滑な事業執行のための環境が整えられると見込まれること。
地元の機運	○	地元関係者から事業実施への同意が確実に得られると見込まれること。